

VIII. 目標値と計画の評価

| 01 | 目標値の設定

| 02 | 計画の評価

VIII. 目標値と計画の評価

| 03 | 目標値の設定

□ 考え方

計画に基づき実施する施策の有効性を評価するため、指標及びその目標値を設定します。

□ 定量的な目標値の設定

『多核連携型』都市構造の構築に必要な「居住の誘導」、「都市機能*の誘導」、「公共交通」や防災まちづくりに必要な「治水対策」、「防災体制づくり」の進捗を計るため、千歳市第7期総合計画や千歳市強靱化計画と整合を図りながら次のとおり設定します。

項目	区分	指標	現況値・基準値	中間目標値・目標値	備考
『多核連携型』都市構造の構築	居住の誘導	居住誘導区域の人口密度(グロス)	H27年(2015年) 49.5人/ha	R12年(2030年) 49.5人/ha R22年(2040年) 49.5人/ha	・居住誘導区域面積に対する国勢調査人口の割合 ※人口は、居住誘導区域にすべて、または一部含まれる字・丁目人口の合計
		泉沢地域の居住誘導区域の人口	H27年(2015年) 9,347人	R12年(2030年) 9,200人 R22年(2040年) 8,800人	・泉沢地域の居住誘導区域内の国勢調査人口 ※人口は、居住誘導区域にすべて、または一部含まれる字・丁目人口の合計 ・人口減少率を半減
	都市機能の誘導	都市機能誘導区域に誘導施設が立地している割合	R3年度(2021年度) 68%	R12年(2030年) 68%以上 R22年(2040年) 68%以上	・都市機能誘導区域(8区域)ごとの誘導種別における誘導施設の立地割合
		中心市街地の歩行者通行量	R元年度(2019年度) 20,968人	R12年度(2030年度) 21,605人	・千歳市第7期総合計画と連動 ・年1日(日曜日)の歩行者通行量
	公共交通	路線バス利用者数	R元年度(2019年度) 5,911人	R12年度(2030年度) 6,200人	・千歳市第7期総合計画と連動 ・夏季、冬季の乗降調査による人数

項目	区分	指標	現況値・基準値	中間目標値・目標値	備考
防災指針	治水対策	普通河川* の浚渫*延長	R元年度(2019年度) 1,060m	R7年度(2025年度) 4,060m R12年度(2030年度) 6,560m	・千歳市第7期総合計画、 千歳市強靱化計画と連動 ・浚渫*延長の累計
	防災体制づくり	個別計画参加町内会数	R元年度(2019年度) 93町内会	R7年度(2025年度) 98町内会 R12年度(2030年度) 102町内会	・千歳市第7期総合計画、 千歳市強靱化計画と連動 ・災害時避難行動要支援者 個別計画に参加している 町内会数
		自主防災組織*活動力 バー率	R元年度(2019年度) 78.17%	R7年度(2025年度) 81% R12年度(2030年度) 83.5%	・千歳市第7期総合計画、 千歳市強靱化計画と連動 ・全世帯数のうち、自主防 災組織*の活動範囲に含ま れている地域の世帯数の 割合

| 04 | 計画の評価

計画の評価については、都市計画運用指針*において「おおむね五年毎に計画に記載された施策・事業の実施状況について調査、分析及び評価を行い、立地適正化計画の進捗状況や妥当性等を精査、検討すべきである。」とされ、その結果などを踏まえ「施策の充実、強化等について検討を行うとともに、必要に応じて、適切に立地適正化計画や関連する都市計画*の見直し等を行うべきである。」と示されています。

都市計画運用指針*に基づき、おおむね五年ごとに目標値の評価検証を行うよう努め、計画を見直す必要がある場合には、適宜、本計画の見直しを行います。

